

## アンゴラ経済概要（1月）

本月報は当館が報道等公開情報<sup>1</sup>より取りまとめたものです

### 石油・LNG

- ・ BP社が実施する、第31ブロックのPSVMプロジェクトにおけるプルタン（7万バレル/日）で生産開始。PSVMプロジェクトでは最大15万バレル/日の生産量を予定しており、今後2013年にサトゥルノとヴェヌス、2014年にマルテで生産開始予定（1/31 JA）。2014年末に生産高のピークを迎える見込み（1/31 BB）。
- ・ ソナンゴル社とコンゴ民のCohydro社は、大西洋における両国の共通利益を有する鉱区において、共同開発を予定しているとコンゴ民石油相が発言（1/29 BB）。
- ・ アンゴラLNGは、2015年より、天然ガスを使った電気生産を開始する予定と電力・エネルギー大臣が言及（1/29 Ex）。
- ・ 2012年12月の石油生産量は178万バレル/日に到達したものの、2012年の目標値であった180万バレル/日には達せず。2013年は200万バレル/日を目標とする（1/11 EX）。
- ・ 中国によるアンゴラの石油輸入量が2013年に7.3%の増加予定。これは中国の経済成長が回復すると見込まれるため（1/31 Ex）。
- ・ GLSホールディング社は、ジェネラル・エレクトリック・オイル&ガス社との提携を発表。1億7500万ドルを投資し、ソヨ市において石油・ガス関連設備生産のサービス拡大を目指す（1/11 EX）。
- ・ キャメロン（Cameron）・アンゴラ社は、初のアンゴラ国産の坑口装置（cabeça de poços）を生産（1/25 EX）。

### 鉱物資源

- ・ エスコム社は、Tchegi 鉱区よりダイヤモンドを5月に生産開始予定。年末までに、35000カラットが生産される見込み（1/22 BB）。
- ・ エンディアマ社は、ルンダ・ノルテ州ドゥンド市に本拠地を構え、より効率的なプロジェクト管理、ダイヤモンド生産向上を目指す旨地質鉱山大臣が発言（1/24 Ah）。
- ・ デビアル社は、これまでの投資額2億5000万ドルを上回るだけの宝石鉱床をアンゴラで掘り当てる確信がある旨言及（1/18 BB）。
- ・ 労働監督署（Inspeccao-Geral do Trabalho）の調査では、2012年中に鉱業関係で約12000件の労働法違反が発覚（1/31 SE）。
- ・ セシル（Secil）社は、1億8000万ドルを投資し、第2のセメント工場を建設予定。これにより、現在の2万8000トン/年の生産能力を180万トン/日まで上げる見込み（1/4 EX）。

### 財政・マクロ経済

- ・ アンゴラ政府は、2008-2011年に生じた債務返済の遅延につき、残りの10%を3月までに

<sup>1</sup> 参考:JA(ジョルナル・デ・アンゴラ), Ex(エスパンサン), BB(ブルームバーグ), JE(ジョルナル・デ・エコノミア), オ・パイス(OP), アンゴップ(AP), SA(セマナリオ・エコノミコ), Ah(アンゴラハブ), ラジオ・ナショナル・デ・アンゴラ(RNA)

払い、完済する旨発表（1/22 JA）。

- ・ 2013年度予算案は、国会で承認。2月15日の最終承認をもって、公布される。本年度予算では約42億ドルの赤字を見込む（1/16 JA）。

#### 国際機関

- ・ IMFは、アンゴラの2013-17年の国家経済プランおよび予算を含むマクロ経済状況の調査のため、アンゴラを訪問。スタンド・バイ取極後、2回目の調査となる（1/17 SE）。マクロ経済の状況を好ましいと判断し（1/31 SE）、同機関はアンゴラに対し、起業費用の低減、インフラ、人材育成等を通じ、産業多角化を進めるべきと発言（1/31 Ex）。

#### 金融・銀行

- ・ 本年2月18日より新貨幣、3月22日に新紙幣の流通開始予定（1/30 JA）。今回の切り替えにおいて5000クワンザ札が新たに流通するが、これに対するインフレ加速化の懸念はないとBNAは発言（1/30 Ex）。
- ・ アンゴラ中央銀行は、1月の金融政策委員会において、市中銀行における金利の参考値となるBNA基礎利率（Taxa BNA）を、年10%まで低下。また、2012年のインフレ率は、内戦終了後最低の9.02%まで下がった旨発表。
- ・ 2013年の金融政策では、引き続きのインフレ率の低下（12月末に9%を目標）、脱ドル化を目指す方向とBNAは発表（1/4 EX）。

#### 二国間関係

- ・ ポルトガル：在アンゴラのポルトガル移民によるポルトガルへの送金額は、昨年より約2倍に増加。2012年11月までに2億4490万ユーロが送金され、2011年は1年間で1億4730万ユーロであり、同移民によるコミュニティが成長している旨報道（1/25 JA）。またパウロ・ポルタス外務相は2月初旬にアンゴラを訪問し、二国間の協力関係につき協議する予定（1/31 Ex）。IT系のポルトガル企業であるノヴァバセ（Novabase）社は、本年20%の収益増加を見込む（1/4 EX）。
- ・ 南アフリカ：ズマ大統領がアンゴラを訪問。両国の経済開発や協力につき協議（1/17 SE）。
- ・ 米国：米国・アンゴラ商業会議所は、2月にアンゴラ企業ミッションが南アフリカを訪問し、アンゴラ投資に関心を有するアメリカ企業ミッションと協議を行う予定と発表（1/17 SE）。
- ・ 中国：2002-12年の間、ANIPは中国による投資につき66案件を承認し、総額約1億7000万ドルに達する。主な分野は建築（1/30 Ah）。在中アンゴラ領事館は、過去6ヶ月間に約20000の入国査証を発給（一日あたり177件）と発表。中国では旅行査証を就業日の2日、通常の就労査証を30日で発給（1/15 Ah）。
- ・ 韓国：ハニル（Hanil）・アンゴラ・エンジニアリング社は、ANIPと1億1000万クワンザの契約に署名。クワンザ・スル州にて綿花の生産を実施する（1/18 EX）。
- ・ 2008-12年のアンゴラへの投資案件数は、ポルトガルが739件で1位。中国は180件で2位、レバノン99件で3位（1/31 SE）。

## エネルギー・水・通信

- ・ ルンダ・ノルテ州ドゥンド市で火力発電所を建設中。完成後は30MWの電力を生産予定。またルアチモ市の水力発電所のリハビリ工事も予定しており、完了後は30～36MW増加予定(1/24 SE)。
- ・ アンゴラ・ユニテル社は2015年までの通信網の拡大に向け、13億5300万ドルの投資することを発表。これにより、光通信を現在の12州から18州へ、また4Gの採用を目指す。同社は現在900万人の顧客を有し、173都市のうち162都市でサービスを実施(1/25, Ah)。
- ・ 光ファイバー・衛星通信会社であるインフラサット(Infrasat)社は、2012年の国内事業による収益が2000万クワンザを突破。2010年より92.3%、2011年より40.8%の成長(1/11 EX)。

## インフラ・建設・物流

- ・ ベンゲラ鉄道は、高まる需要に応じて、ロビト-ルエナ間の鉄道数を増加させる予定(1/29 Ex)。また本年8月には国境付近であるルアウ市まで達する予定と中国系企業が発表(1/28 Ah)。
- ・ ルアンダ鉄道は2013年2月までに、ブンゴ駅(bungo)-ムセケ駅(Musseque)の商業運行を開始予定(1/3 JA)。
- ・ ロビト港の波止場は拡張工事が終わり、本年第一四半期に開港予定(1/17 SE)。
- ・ ポルトガル系スーパーのコンティネンテ社は、遅くとも2014年にアンゴラで事業開始予定(1/30 Ex)。
- ・ 物流と人材リクルートを扱うベンガロ社は、2012年に70000ドルの利益。今後ザイレ州およびベンゲラ州にも事務所を構える予定(1/26 Ex)。
- ・ アンゴラ航空(TAAG)は2012年に110万人の乗客が利用。2011年より11%の増加。また収益も6億5000万ドルを突破(1/11 EX)。
- ・ 4月よりナミビア-アンゴラ間の国境付近にあるクネネ州サンタ・クララ市にてUNICARGAS社のターミナルが事業開始予定。これにより、ナミビアの商品がアンゴラより簡易に入ってくる見込み(1/24 SE)。
- ・ アンゴラに入ってくる商品の約60%を取り扱うソジェステル(sogester)社は、2007年以来1億4500万ドルを投資。今後5年でさらに6000万ドル追加投資予定(1/24 SE)。
- ・ 2013年の予算案では、インフラに対する投資額は2012年に比べ52%まで減額(1/11 EX)。

## 農業・漁業

- ・ 2011年のアンゴラのコーヒー生産量は、2010年の35000袋より減少して、29000袋。(1/30 Ex)。また輸出量も2012年には4.3%減少(1/18 EX)。
- ・ アンゴラを訪問したFAO代表は、アンゴラはアフリカのポルトガル語圏の中でも農業において非常に高いポテンシャルを有している旨発言(1/31 Ex)。
- ・ 昨年の漁獲量は、2010年の29万4500トンから、35万4500トンまで増加(1/2 JA)。
- ・ 2013年、政府は干魚、塩の生産に対し6400万ドルを投資。ベンゲラ州およびナミベ州の塩田を拡張し、生産量を増やす見込み(1/11 EX)。

#### その他の産業・当地企業

- ・ ANIPは、新たに8件の投資案件を契約した旨発表（総額1540万ドル）。ポルトガル、中国、モーリシャス、韓国、ベルギー、UAE等の会社が対象（1/18 EX）。
- ・ アンゴラへの投資で優先される分野は建設であるとANIP代表は言及。また、中国、パキスタン、モーリタニアを含む4つの投資案件を契約締結（総額約140億クワンザ規模）（1/24 SE）。
- ・ ルアンダ州は道路での販売者を受け入れる新たな市場を都市周辺部に建設予定と、ルアンダ州政府インフラ・公共事業局長が発表（1/24 AP）。
- ・ 2012年の間に、アンゴラでは総計22万1600の雇用を新たに創出したと職業訓練雇用国家局（Direcção Nacional do Emprego e Formação Profissional）は発表。特に運輸、商業、農業が多い。2011年は11万の雇用創出（1/4 EX）。
- ・ アンゴラの乳製品を扱うLactiangol社は、2012年に25億ドルの利益。輸入品と競争する上でも良質の製品を生産し続けると同社代表は発言（1/30 Ex）。